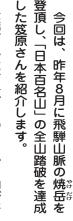
みんなの



山の素晴らしさ、自然の素晴らしさを 日本百名山を踏破



踏破を目指してきました。 を達成したことに気付き、そこから全山 のころ、山形蔵王でした。 きで、最初に百名山を登ったのは、30代 60歳間近になって、百名山のうち半分 笈原さんは、子どものころから山が好

たそうです。 て一緒に登り、山頂では、みんなに祝っ てもらったことが、最高の思い出になっ で、山登りの仲間たちが全国から集まっ 記念すべき百山目は、飛騨山脈の焼岳

どとなった東北百名山の踏破を目標にし 実感させてくれます」と山の魅力を話し るので、どの山も、自然の素晴らしさを ていました。 今後の目標を尋ねると、「残り20峰ほ 笈原さんは「山にはそれぞれ特徴があ

日常生活で意識しながらトレーニングを ています。 せんが、体が動く限り、山登りを続けて るので、なるべく体力が落ちないように、 しています。いつまで登れるかわかりま 年とともにどうしても体力は落ちてい

いきたい」と意欲をみせていました。



好 子 さん (蛇田地区)

씽

家の深田久弥の随筆(1964年刊行) ※『日本百名山』・・・登山家であり文筆 山、を選定した。 以上の山という基準を設け、,日本百名 ね備え、かつ原則として標高1500m した経験から、「品格・歴史・個性」を兼 百の随筆である。日本の多くの山を踏破 で百座を選び、それらの山を主題とする で、日本列島の山から深田が定めた基準



今月の表紙から

んおはなし会」が行われました。 2月5日(金)、市図書館で「あかちゃ

市図書館では、

乳児のころから本に

ないいないばあ」などの5冊の絵本を びや童謡を取り入れながら、「ぴょー 聞かせボランティアの皆さんが、手遊 ん」「うさこちゃんとゆうえんち」「い 約2組の親子が参加し、同館の読み

なし会」を開催しています。

「紙芝居とお話の会」や「たのしいおは また、ほかにも、幼児を対象とした 時30分から11時まで行われる予定です。 ので、今後も、毎月第1金曜日午前10 親しんでもらおうと初めて企画したも

読みました。

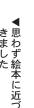
Щ

ていました。なかには、リズムをとっ すったりして絵本の世界に引き込まれ の声に反応し、手を動かしたり体をめ て拍手する子もいました。 絵本をじーっと見つめ、時折、読み手 子ども達はお母さんのひざの上で、

とても良かったです」と話していまし が夢中になるのは初めてで、参加して であげていますが、こんなにも子ども が過ぎた感じです。家でも絵本を読ん 参加した方は「あっという間に時間

ہل







▶大型絵本も登場!



▼指人形に興味津々



先生のユーモ アたっぷりの 折 新 \blacksquare

会も与えてくれています。

生きる私たちの心を、和ませてくれる機

てくれているだけでなく、多忙な毎日を

は、その機会を絶やさないように

モニーを奏で

震いするよう な見事なハー いていると身 うな歌声とな 、間近で聞



く透き通るよ

女性特有の高

の開け方などを一つ一つ丁寧に確認し曲 をほぐし に臨みます。こうして発せられる歌声は、 歌い始める前に、軽い体操をして身体 、発声練習をしながら姿勢や口

囲気の中で活動しています。

取り入れながら、和気あいあいとした雰 指導のもと、童謡のほか最近の曲なども 現在は25人の女性会員が新田昭夫先生の

練習に励んでいました。

童謡愛好会の定期演奏会で披露する曲

取材した日は、毎年交流している仙台

る和香園や恵仁ホームの皆さんに披露さ れたメッセージは、毎年交流を続けてい す」と話していました。そして、その託さ り表現力に深みが増し味も出るもので 情感溢れる詩が心を和ませ、大人から 昔を懐かしんでもらっています。

歌うことで、よ



石巻童謡愛好会

を心掛けていま ながら歌うこと ちや意図を考え などを交えなが れたときの逸話 、作者の気持 、曲が作る

央公民館の一室から若々しく透き通るよ

毎月、

、第2・4 火曜日になると、石巻中

つな歌声が聞こえてきます。石巻童謡愛

好会の皆さんの歌声です。

平成3年に5~6人の有志で結成され

作り手が歌い手 に託すメッセー 曲というのは 田先生は

学分家

桃生・新田地区



左から、あや希ちゃん、香里奈ちゃん、香那陽くん

^{かなや} **香那陽**く ん(10歳)

野球選手 **あや希**ちゃん (8歳) 学校の先生

香里奈ちゃん(1歳)

お兄ちゃん、お姉ちゃんのよ うになりたい

《がんばりたいことや将来の夢》

<両親から>

感謝の気持ちを忘れず、希望と夢をいつまでも持ち続ける、心豊 かな人になってほしい。

知っていますか? 石巻市の・

会情勢や学習環境の変化に伴い、耳にす 昔から歌い継がれてきた童謡ですが、社 子どもまで年齢を問わず歌える歌として

る機会が徐々に少なくなってきています。

愛好会の皆さんが奏でる美しいハーモ

紋章(平成17年4月1日制定) その歴史



旧石巻市では、昭和8 (1933)年に市の紋 章の意匠図案を募集し、400を超える応募 の中から、三橋養之助氏(門脇町)の意匠図 案が選ばれ、昭和9(1934)年4月10日に制 定されました。

平成 17 年 4 月、市町合併で新「石巻市」と ついては、合併前に石巻地域合併協議会で検 討しました。その結果、旧石巻市の紋章を使用することが最良 であると判断し、合併時に制定されました。

情報をお寄せください

「みんなの広場」は市民の皆さんが参加して、みんなでつ くるコーナーです。

毎月、次のような方々を紹介しています。

自薦、他薦を問いませんので、情報をお寄せください。

- ・全国大会などで実績のある元気で明るい若者
- ・音楽、スポーツ、ボランティアなど活発なサークル活 動をしている団体
- ・元気な高齢者
- ・仲の良い3人以上の兄弟姉妹

広報広聴課(内線 211)